



福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会

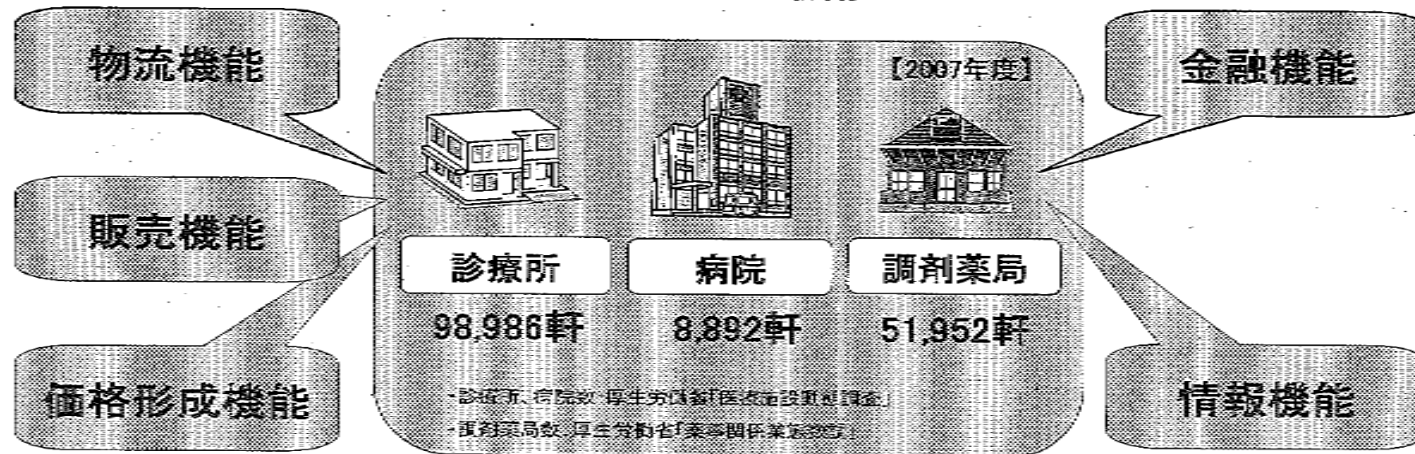
福岡県医薬品卸業協会

平成23年6月14日

日本の医薬品卸の主な機能

日本の医薬品卸は、「物流」「販売」「価格形成」「金融」「情報」の5つの機能を提供し、医療機関・調剤薬局のコスト削減に大きく貢献している

《卸の5つの機能》



日本の医療機関数総合計は16万軒！



医療用医薬品卸としての立場

- 基本姿勢

先発品と同じ扱いで、お得意先からのご注

文に対して、安心・安全・安定供給に努める



GE医薬品の卸での在庫問題

- 限定された得意先しかでない場合、不動
品になることが多く、在庫することが困難
- 返品不可のメーカーが多く、不動品が増加
する
- 追補収載のたび、GE医薬品の在庫が増
加し、卸の倉庫スペースを圧迫する



GE医薬品メーカーへの希望

- 卸担当(特担)の配備
- 生産ラインの確保(品切れの抑制)
- 的確な市場予測
- 安易な製造中止の見直し



後発品 製造中止品について

2010年

後発メーカー162社 (GE専業 30社)

後発品目数 17,036 (GE専業12,586)

中止品目数 1,285 (GE専業1,003)

中止品目率 7.54% (GE専業7.97%)

2010年 後発品製造中止明細

後発品 製造中止品比較					
※2010年の中止設定品を単純に比較しております。					
GE専業	仕入先	仕入先名(漢略)	2010年 中止品	総点数	比率
○	815700	日医工(株)	288	1,756	16.4%
○	731000	沢井製薬(株)	58	1,201	4.8%
○	725700	大洋薬品工業(株)	86	1,012	8.5%
○	300000	マイラン製薬(株)	59	723	8.2%
○	381000	興和デバ(株)	71	679	10.5%
○	664900	田辺製薬販売(株)	33	585	5.6%
○	290200	ニプロファーマ(株)	29	576	5.0%
○	641900	共和薬品工業(株)	26	554	4.7%
○	837400	(株)陽進堂	46	430	10.7%
△	510000	日本ケミファ(株)	47	426	11.0%
○	664500	日本ジェネリック(株)	18	401	4.5%
○	808800	高田製薬(株)	17	378	4.5%
○	550004	キョーリンリメディオ	36	371	9.7%
○	800700	大原薬品工業(株)	40	313	12.8%
○	721400	サンド(株)	22	287	7.7%
○	821900	富士製薬工業(株)	4	277	1.4%
○	770300	辰巳医専(株)	16	275	5.8%
	660500	イフキ(株)	12	251	4.8%
○	658600	小林化工(株)	7	245	2.9%
△	010007	あすか製薬(株)	3	230	1.3%
△	520000	扶桑薬品工業(株)	14	226	6.2%
△	140000	明治製菓(株)	7	211	3.3%
○	673200	エルメッドエーザイ(株)	2	209	1.0%
	505200	日本ソアリング(株)	5	193	2.6%
△	440000	科研製薬(株)	6	191	3.1%
△	370000	アルフレッサファーマ	1	170	0.6%
△	731500	(株)三和化学研究所	4	169	2.4%
○	765400	日本薬品工業(株)	8	155	5.2%
	821000	(株)スズケン	4	151	2.6%
△	100300	第一三共(株)	3	146	2.1%
	658300	寿製薬(株)	17	142	12.0%
△	490000	日本化薬(株)	6	131	4.6%
○	790700	ザイダスファーマ(株)	44	130	33.8%
○	750400	全星薬品(株)	2	129	1.6%
	851500	東和薬品茨城販売(株)	0	1	0
			1,285	17,036	7.5%



行政への要望

- 診療所・調剤薬局への更なる啓発活動
- 国民へのGE医薬品の啓発活動



医薬品卸の一般的な問題

- 返品問題
- 急配問題
- 未妥結仮納入問題
(2月末妥結状況表 別紙)
- 廃棄物問題
- 薬局店舗間の商品移動預り
- 調剤薬局間の薬の買い継ぎ問題
- 総価取引交渉が改善しない
(単品取引といいながら)



返品問題

- 返品をお受けできない商品の種類
 - ①麻薬 ②覚せい剤原料 ③取り寄せ品
 - ④担当会社以外からの納入品
- 産業廃棄物処理法上お引取りできない商品
 - ①期限切れ品 ②期限切迫品 ③温度管理品
 - ④旧包装品 ⑤破損品 ⑥汚損品 ⑦開封品
 - ⑧中抜け品 等

中抜け品例

～ 中抜け状況 ～

< 外観 >



拡大

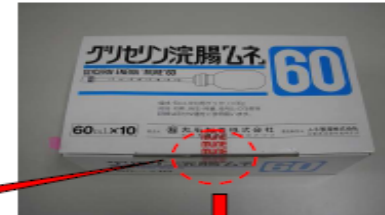
< 内抜け状態 >



42錠不足
(残8錠)

～ 中抜け状況 ～

< 外観 >



密封済

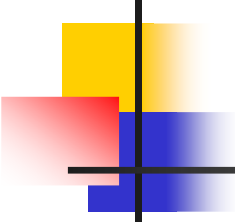


拡大

< 内部状態 >



1個不足



自主回収における卸の負担

- 回収案内→返品預り書発行→納入確認→ 仕切書(返品伝票)発行→商品受領→一時保管(支店) →物流センターへ送品(送品書発行)→物流センター一時保管(全支店分)→メーカー送品(返品伝票発行)
- 通常の営業活動に支障をきたす



自主回収の状況

- ・ メーカー依頼の不良品自主回収が高水準で推移

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
件数	40	47	48	68	37

* 20年度は2月10日現在

【回収の原因】

品質不具合35% 異物混入30% 表示ミス22.5%
容器等不備9.6% その他2.9%

- 流通コード(商品コード・有効期限・製造番号)のバーコード表示がない場合、全ユーザーの在庫を確認し、目視で不良回収品を確認することが必要。

妥結率状況表(2011/2末)

2 月 末 妥 結 率 明 細										
(単位:%)										
卸名	施設別	病 院(総計)	200床以上	その他の病院	診療所	(医療機関 計)	チェーン薬局 (20店舗以上)	その他の薬局	(保険薬局 計)	総 合 計
(株)アステム	金額ベース	74.00	70.30	87.20	95.50	81.10			66.80	73.90
	軒数ベース	85.40	80.90	88.50	96.80	95.30			77.50	88.40
(株)アトル	金額ベース	46.95	37.10	84.66	94.55	41.90			63.76	60.75
	軒数ベース	84.99	65.91	93.51	98.41	3.80			69.84	86.73
(株)翔業	金額ベース	69.10	58.60	80.30	95.30	74.50	15.00	86.50	70.20	70.90
	軒数ベース	90.70	76.90	92.70	96.70	94.60	16.00	91.50	80.80	90.00
九州東邦(株)	金額ベース	64.28	59.31	69.25	96.23	80.25			59.34	64.45
	軒数ベース	82.71	80.95	84.47	95.59	89.15			59.42	78.98
富田薬品(株)	金額ベース	59.10	51.60	82.70	96.10	70.90			58.80	63.70
	軒数ベース	81.30	73.90	86.50	95.70	92.40			66.50	82.20
常盤薬品(株)	金額ベース	54.90	50.10	77.10	93.40	59.50	31.00	72.60	62.10	60.50
	軒数ベース	75.00	83.30	88.60	93.50	91.20	15.40	79.10	67.90	79.50
(株)宮崎温仙堂商店	金額ベース	100.00	100.00	93.60	93.40	97.40	0.00	78.20	63.80	63.40
	軒数ベース	100.00	100.00	97.50	96.20	97.30	0.00	82.00	72.40	70.60
アルフレッサ(株)	金額ベース	71.40	70.30	75.00	100.00	77.80	70.40	66.70	69.70	75.00
	軒数ベース	49.90	52.00	29.10	100.00	51.10	50.90	41.70	49.30	51.00

廃棄物持ち帰り実態調査

■ 調査機関 平成22年7月1ヶ月

■ 内容

ダンボール

商品の空箱

(シップ薬・輸液等)

その他

1ヶ月間の依頼回数	産業廃棄物の内容
3	段ボール箱
2	段ボール箱
5	段ボール箱
4	段ボール箱
4	厨房より医療食の空箱の依頼あり。食品業者がやっている為断れない。
4	商品の外箱
5	フレグムの空箱持ち帰り
2	薬品空箱、ダンボール類を本部へ運搬。
2	薬品空箱、ダンボール類を本部へ運搬。
2	空箱
4回	納品した輸液の空箱
1回	納品したシップの空箱
8回~10回	納品した輸液の空箱
3回	ダンボールの廃棄
2回	ダンボールの廃棄
5回	ダンボールの廃棄
6回	ダンボールの廃棄
15回	ダンボールの廃棄
5回	ダンボールの廃棄
2回	商品の外箱の廃棄
4回	商品の外箱
2回	ダンボール回収
2回	ダンボール回収
2回	ダンボール回収
4回	ダンボール回収
2回	ダンボール回収
5回	ダンボール回収
1回	ダンボール回収
2回	ダンボール回収
1回	ダンボール回収
3回	ダンボール回収
3回	ダンボール回収
	シップ剤の空箱
	シップ剤の空箱
	シップ剤の空箱
	シップ剤の空箱
	シップ剤の空箱
1	納入品目のダンボール箱
1	納入品目のダンボール箱
4	納入品目のダンボール箱
2	納入品目のダンボール箱
2	納入品目のダンボール箱
2	納入品目のダンボール箱
1回	ダンボール(2~5枚)廃棄→集荷場(薬局から200m)
3回	輸液のダンボール廃棄依頼
毎日(20)	自社納品の湿布剤の空き箱(1日1~2箱)
3	薬剤の空き箱(ダンボール)
8回	空き箱
10回	空き箱
4回	空き箱
8回	空き箱
4回	空き箱
1回	空き箱
1回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
1、2回	空き箱
5、6回	空き箱
4回	空き箱
3回	空き箱
4回	空き箱
15~20回	空き箱

ページ



廃棄物処理に関するお願い文

社団法人 福岡県医師会 御中

平成23年3月吉日

福岡県医薬品卸業協会

廃棄物の適正処理に関するご協力のお願い

謹啓 早春の候 先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、標記の件につきまして、先生方のご理解とご協力を賜りたく、以下にお願い申し上げます。

ご高承の通り、事業活動に伴う廃棄物（産業廃棄物・一般廃棄物）の処理につきましては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律「略称：廃棄物処理法」により、排出する事業者自らが処理を行うか、廃棄物収集運搬業や処分業の許可を有する業者に、その処理を委託することが定められております。

また、平成10年の法改正で産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度の適用範囲が広がり、現在はすべての産業廃棄物に適用されております。

さらに、平成17年の法改正で、無許可営業等に関して罰則が強化され、罰金額も法人では1億円以下（それまでは1千万以下）に引き上げられ、そして、平成22年5月には、廃棄物を排出する事業者による適正な処理を確保するための対策の強化で、罰金額を3億円に引き上げる法案が成立し公布され平成23年4月1日施行されます。

このように、廃棄物処理に関する監視が強化されており、私共卸におきましても、リサイクル化・減量化に取り組むとともに、廃棄物の処理につきましては、資格を有する業者に委託致しております。

前述いたしましたように、医療機関等から排出される医薬品の包装紙や外箱、再販売不能品（期限切れ商品、開封品等）、ダンボール、書類、空き缶等は、産業廃棄物あるいは一般廃棄物に該当し、事業者自ら処理することが求められております。

私共卸は、「廃棄物収集運搬業」や「処分業」の許可を有しておらず、これらを持ち帰ることは法律に違反する行為となります。

私共は、コンプライアンス（法令順守）経営の徹底を図ると共に、更なる従業員教育に努めてまいりますので、先生方におかれましても、何卒主旨をご理解頂きまして、その適正な処理に向けてご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

謹白

- (1) 医療機関様等から排出される産業廃棄物は、収集運搬業の許可を有する業者とご契約して頂くなど、適正な処理をお願いいたします。
- (2) 医薬品卸は、「廃棄物収集運搬業」や「処分業」の許可を有しておりません。無許可の者にその処理を委託されますと、廃棄物処理法違反となり、排出者である医療機関様等も処罰されることとなりますので、ご注意ください。
- (3) ご家庭から排出される一般廃棄物は、(1)とは区別のうえ市町村等により定められた方法で排出されますようお願い申し上げます。

※ 産業廃棄物処理業者に関する件につきましては、「福岡県産業廃棄物協会」のホームページ (<http://www.fsanpai.com>) をご参照下さい。



薬局店舗間移送・買い継ぎ依頼実態

- 調査期間 平成22年7月
- 内容
 - グループ調剤間の商品・書類の移送
 - 買い継ぎ(出先を探して、代金立替を含む)
 - 分譲依頼等
- 回数
 - 毎日→7軒、20日以上→18軒 15~20日→26軒
 - 10~15日→66軒、10日未満→260軒

薬局店舗間移送・買い継ぎ依頼実態

1ヶ月間の依頼回数	調剤薬局店舗間移送
20	南区グループ間移動は毎日。買い継ぎはたまにあります。
30	転送10・買い継ぎ20ともに多い先です。
10	転送7・買い継ぎ3ともにあります。
10	転送5・買い継ぎ5ともにあります。
3	買い継ぎ。
10	転送7・買い継ぎ3ともにあります。
10	転送7・買い継ぎ3ともにあります。
3	買い継ぎ。
10	転送5・買い継ぎ5ともにあります。
5	転送3・買い継ぎ2。
3	買い継ぎ。
5	転送1・買い継ぎ4
10	買い継ぎ5。転送5。
20	店舗間移動は毎日。買い継ぎもたまにあります。
20	店舗間移動は毎日。買い継ぎもたまにあります。
20	店舗間移動は毎日あります。
20	店舗間移動は毎日。買い継ぎもたまにあります。
10	転送
10	店舗間移動
13	買い継ぎ
5	代金立替で分譲依頼あり。
3	分譲依頼あり。
10	代金立替で分譲依頼あり。店舗間移動あり。
3	代金立替で分譲依頼あり。
1	代金立替で分譲依頼あり。
5	分譲依頼あり。
5	分譲依頼あり。
2	分譲依頼あり。
2	分譲依頼あり。
2	分譲依頼あり。
3	店舗間移動あり。(福岡県内)
1	店舗間移動、分譲依頼あり。
5	分譲依頼あり。
15	グループ間、PSC受取り、分譲依頼
15	グループ間、PSC受取り、分譲依頼
4	グループ間、分譲依頼



卸業協会の取組み(行政)

- 緊急医薬品等医療セットの備蓄

福岡・北九州・筑豊・筑後の4ブロックで、薬務課と契約した医薬品と医療セットを備蓄し、緊急災害時に備えている。(毎年、福岡県総合防災訓練にも参加)

- 抗インフルエンザウィルス薬の備蓄

新型インフルエンザ対策で、抗インフルエンザウィルス薬を薬務課と保管契約を行い、発生時における放出体制を確立している。



医薬品卸売業の使命（実例）

- 行政との協力のもと新型インフルエンザ発生におけるワクチンの迅速な適正供給

- 東日本大震災における医薬品供給